

クラウス・マケラ指揮 オスロ・フィルハーモニー管弦楽団 辻井伸行(ピアノ)

2023年

10/18(水) 19:00開演(18:15開場) 東京芸術劇場 コンサートホール

10/24(火) 19:00開演(18:15開場) サントリーホール

シベリウス:交響曲第2番

シベリウス:交響曲第5番

■28,000円 ■A24,000円 ■B20,000円 ■C15,000円 ■D10,000円 ■U25 5,000円

10/23(月) 19:00開演(18:15開場) サントリーホール

ショスタコーヴィチ:祝典序曲

ショスタコーヴィチ:ピアノ協奏曲第2番 [ピアノ:辻井伸行]

R.シュトラウス:交響詩《英雄の生涯》

■30,000円 ■A25,000円 ■B20,000円 ■C15,000円 ■D10,000円 ■U25 5,000円

20代でオスロ・フィル、パリ管、
コンサートへボウ管のシェフに指名された
天才指揮者クラウス・マケラ
手兵オスロ・フィルと待望の来日

Klaus Mäkelä, Oslo Philharmonic / ©Marco Borggreve / Nobuyuki Tsujii / ©Yuji Hori



※辻井伸行は10/23のピアノ協奏曲に出演



チケット発売日

2023年 4月9日(日)朝10時より

ご予約/お問い合わせ

チケットスペース

03-3234-9999

🔍 チケットスペースオンライン 検索

プレイガイド

※ぴあ・イープラス・ローソンチケットではWEBのみで販売
(電話・店頭販売無し)

◆チケットぴあ <https://pia.jp/> ※U25席はぴあWEBのみで販売

◆イープラス <https://eplus.jp/>

◆ローソンチケット <https://l-tike.com/>

※会場プレイガイドでは開催公演のみ取扱

◆東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296
<https://www.geigeki.jp/t/>

◆サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017
suntory.jp/HALL/

※U25席のチケットは一般発売から、ぴあWEBのみで販売(公演当日
25歳以下対象)。当日、年齢の証明ができる身分証明書を提示の上、座
席指定席券と引き換え。お席はお選びいただけません。※チケットはお
1人様1公演4枚までとさせていただきます。※未就学児のご入場はお
断りいたします。※出演者・曲目・曲順等は変更になる場合がございます。
※車椅子でご来場されるお客様はご購入前にチケットスペースまで
必ずお問い合わせください。※新型コロナウイルス感染症対策の最新
情報・ご来場のお客様へのお願いはチケットスペース
のHP(<https://www.ints.co.jp/>)をご確認ください。
■10/18・10/24公演は公演当日18歳以下の中学生・
高校生対象の無料ご招待を予定しております。詳細は
決まり次第オフィシャルHPでお知らせいたします▶▶



クラウド・マケラは本当に特別な存在だ! — タイム誌

世界を駆け巡るマケラ・ショック

クラウド・マケラの多彩な指揮によって
オーケストラは統一感を失うことなく
高い精神性で聴衆を魅了した。それは驚異的体験であった。
その場にいた者は決して忘れることはないだろう。

——南ドイツ新聞

マケラのシベリウスは衝撃的な勝利だ!
こんなシベリウスの登場を誰が予想しただろうか?

——BBCミュージック・マガジン

音楽的エネルギーの源はリズムとアーティキュレーション、
そして必然的な推進力からくるものであり、
マケラはそれを完璧にマスターしている。
極めて有望なデビュー作だ!

——グラモフォン誌

マケラの魅力は生演奏でいかに発揮される。
魅力的な飛翔と明確な彼の指揮によって、
オーケストラは自然に歌い、最上の表現をする。

——エル・エスパニョール

©Marco Borggreve



1996年フィンランド生まれ。12歳からシベリウス・アカデミーにてチェロと指揮を学ぶ。若くしてスウェーデン放送交響楽団の首席客演指揮者に就任したほか、これまでにフィンランド放送響、ヘルシンキ・フィル、ロンドン・フィル、ミュンヘン・フィル、ニューヨーク・フィル、シカゴ響、クリーヴランド管など、欧米の一流オーケストラとの共演で高い評価を獲得し「数十年に一度の天才指揮者の登場」とも評される大成功を収める。2020/21年のシーズンから、24歳でオスロ・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者に就任し、翌年のシーズンからはオスロ・フィルに加えて、パリ管弦楽団の音楽監督にも就任。歴史あるオーケストラにおける20代の音楽監督の誕生は鮮烈なニュースとして世界を駆け巡った。また、2022年6月、オランダのロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団が2027年のシーズンから首席指揮者にクラウド・マケラを指名したことを発表。名門オーケストラが立て続けに20代の若手指揮者を自らのシェフに指名したことで、さながら“マケラ・ショック”とも呼べるほどの衝撃を世界のクラシック界に巻き起こしている。

ノルウェーの首都オスロを拠点に世界的な活躍を繰り広げる北欧の名門オーケストラのひとつ。エドヴァルド・グリーヴらが設立したクリスチャニア音楽協会の流れを汲み、1919年に創設。歴代の音楽監督にはヘルベルト・ブロムシュテット、マリス・ヤンソンス、アンドレ・プレヴィン、ユッカ=ベッカ・サラステなどの一流指揮者が名を連ねており、なかでも1979年から2002年までの23年間にわたり首席指揮者を務めたマリス・ヤンソンスとはEMIレーベルに数多くのレコーディングを行い、そのクオリティの高さと充実ぶりを世界中の音楽ファンに知らしめたほか、1988年の初来日以来3度の日本ツアーを成功させている。2013/14年のシーズンからはヴァシリー・ペトレンコが首席指揮者を務め、2020/21年のシーズンからは若手フィンランド人指揮者クラウド・マケラが就任。2022年にはマケラのCDデビュー作となるシベリウスの交響曲全集をデッカ・レーベルからリリースし世界中で極めて高い評価を得ている。今回のマケラとの日本ツアーは2014年にヴァシリー・ペトレンコと来日して以来、9年ぶりの来日公演となる。

2009年「第13回 ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール」で日本人として初優勝して以来、国際的に活躍している。2011年、ニューヨーク、カーネギーホール主催のリサイタルで驚異的な大成功を収め、以後定期的に同ホールの主催公演に招聘されているほか、ロンドン、ウィーン、パリ、ミラノなど、世界の主要都市でのリサイタルやオーケストラとの共演はいずれも高い評価を受け、欧米の主要コンサートホールや主催者からの出演依頼が数多く寄せられている。また、著名な指揮者や世界的オーケストラからも高く評価されており、ユロフスキ指揮ロンドン・フィル、ケント・ナガノ指揮ハンブルク・フィルなど、著名オーケストラの日本ツアーのソリストに数多く抜擢されているほか、欧米の一流オーケストラの定期公演にもたびたび招聘されている。2023年以降もニューヨーク、カーネギーホールの主催公演、ロンドン公演、パリのシャンゼリゼ劇場における公演をはじめ、世界の主要都市でのリサイタルや世界的オーケストラとの共演が数多く予定されており、日本を代表するピアニストとしてさらなる飛躍が期待されている。